



コロナ禍に負けない。(関連記事4・5ページ)

「山はいつまでも山」、やまの恵みを後世に 永源寺相谷町に 県下最大級の太陽光発電所完成



永源寺相谷町に滋賀県下最大級の太陽光発電所が完成し、4月から発電を開始しました。場所は熊原神社の東の山の中で、上からは蛇行する愛知川や湖東平

野が見下ろせ、その向こうには琵琶湖も見える見晴らしの良いところです。

この太陽光発電所は2015年に計画が始まり、環境アセスメントや設置のための道路の確保、整地、雑木の伐採、ソーラーパネルの設置などに約5年かかりました。開発面積は約14.6ヘクタール、東京ドーム3個分の広さで、設置されたパネルは約3万枚、想定



発電量は1か月に一般家庭約4千世帯分に相当します。

6月28日には、永源寺相谷町の住民などを対象に見学会が行われ、約50人が参加されました。今まで草や木が生い茂っていたところを整地することにより、土がむき出しになり土砂が流されるのを防ぐため、太陽光パネルの下や道路わきにはヨモギが植えられ緑化されています。開発地の低いところには、溜め池があり、そこに水を貯めるようにも工夫されています。

昔は山には杉や檜を植林し、下草刈り、枝打ちなど手間をかけて世話をして大きくして、木材が村の生活を守ってきましたが、少子高齢化や生活様式の変化により、植林した木を切ることもなく荒れてしまっています。今回の太陽光発電所は「山はいつまでも山」として有効活用し、荒れてしまった山と自治会を守る新しい取り組みです。

今後20年間はCO2排出ゼロと、自治会運営に大きく貢献すると期待されています。自然エネルギーを活用した地域発電所は増えてきていますが「永源寺相谷特高発電所」は荒れた山を有効活用する一つの良いモデルになっていくのではないかと思います。

編・集・後・記

新型コロナウイルスで、日常生活が変わろうとしています。私事ですが、7月に転勤になり毎日大阪(梅田)まで通勤することになりました。関西圏では最も感染者数の多い大阪、行き交う人たちから感染に対する危機感がヒシヒシと伝わってきます。例えば、通勤電車内では、ソーシャルディスタンスが取れない状況ですが、ほとんどの方がマスクを着用し、会話を交わすことなく、咳・くしゃみを堪えることで感染防止に努めておられます。もちろん、鉄道会社も車内換気をフル稼働し、感染リスクを最小限に抑えるよう努力されています。比較的感染リスクの少ない永源寺地区と比べ、感染予防の意識が強いように感じます。一方で、感染経路不明の方が増加しているのも事実です。極々一部の方に「これぐらいなら大丈夫だろう」と言う意識のもとに軽率な行動をされたのではないかと思います。もしくは、リスクを承知で自身の生活のために、やむを得ずの行動と推測できます。

個人には諸事情があり、感染対策もそれぞれの方法があると思います。正しい新型コロナウイルス感染予防の知識を知り、自身の日常生活(経済)を考え、感染リスクを最小限に抑えることが必要かと思えます。日常生活を見直し、新たな生活に踏み出す「きつかけ」になればと思います。このような状況ですが、少しでも前に進めることで、その先に笑顔のある生活が見えてくると思います。ガンバロー!! (syu)

こんにちは 保健師 です

皆さま、ご存知ですか。永源寺支所に保健師の窓口があることを。

地域の皆さまが心身ともに健康な状態で日常生活を送っていただけるように、病気やケガの予防や健康増進のお手伝いをより身近な場所（支所）で行っています。

健康診査等による疾病の早期発見をすることや、このままでは将来的に病気になるであろうと思われる「予備軍」の人に適切な食事や生活指導を行うことで、その人が病気になるのを防ぎます。

保健師の主な仕事は、次のとおりです。

- ①健康相談
- ②保健事業に関する問い合わせ
- ③母子健康手帳の交付
- ④各種申請の受付
 - ・健診、予防接種費用の免除申請
 - ・未熟児養育医療給付申請
 - ・不妊、不育症治療費助成申請
 - ・滋賀県予防接種広域化事業申請
 - ・風しん予防接種費用助成申請
- ⑤その他、地区活動
 - ・家庭訪問
 - ・出前講座（健康教育）
 - ・地域包括相談員や各種団体の人との連携した活動

支所にお越しの際は、お気軽に声をおかけください。

担当は、山中和美です。よろしくお願ひします。

◆永源寺支所 保健師の窓口
電話 0748-27-1138
I P 050-5801-5634



| まちづくり協議会の決算と予算 | | | |
|----------------|-------------------|-----------|-----------|
| (収入) | 項目と説明 | 元年度決算額 | 2年度予算額 |
| | まちづくり総合交付金 | 3,033,000 | 3,125,000 |
| | 補助金（事業に対する補助金） | 220,000 | 120,000 |
| | 自治会からの受入拠出金 | 800,000 | 800,000 |
| | 事業収入（参加費・協賛金・広告料） | 660,200 | 700,000 |
| | 大型金属資源回収事業受託料 | 1,172,600 | 1,172,000 |
| | コミュニティ助成事業助成金 | 2,400,000 | 0 |
| | 基金繰入金 | 0 | 350,000 |
| | 諸収入（販売金・預金利息） | 32,030 | 5,829 |
| | 前年度繰越金 | 763,843 | 777,171 |
| | 合計 | 9,081,673 | 7,050,000 |
| (支出) | 項目と説明 | 元年度決算額 | 2年度予算額 |
| | 会議費（総会、運営委員会等） | 14,515 | 30,000 |
| | 広報費（広報紙発行） | 537,746 | 600,000 |
| | まちづくり計画策定費 | 168,572 | 450,000 |
| | まちづくり計画部会活動費（別掲） | 426,130 | 0 |
| | まちづくり計画事業推進費（別掲） | 2,516,578 | 3,600,000 |
| | 大型金属資源回収事業 | 1,145,735 | 1,172,000 |
| | コミュニティ助成事業 | 2,465,444 | 0 |
| | 活動負担金（自治連・体育協会） | 340,000 | 590,000 |
| | まちづくり協議会連絡会負担金 | 10,000 | 10,000 |
| | 事務局費（事務費・通信費等） | 329,782 | 590,000 |
| | まちづくり基金繰出金 | 350,000 | 0 |
| | 予備費 | 0 | 8,000 |
| | 合計 | 8,304,502 | 7,050,000 |

| コミュニティセンター指定管理会計の決算と予算 | | | |
|------------------------|---------------------|------------|------------|
| (収入) | 項目と説明 | 元年度決算額 | 2年度予算額 |
| | 指定管理受託料 | 27,891,000 | 28,146,000 |
| | 事業収入（受講料） | 182,300 | 142,000 |
| | 諸収入（コピー機等使用料） | 386,741 | 50,494 |
| | 前年度繰越金 | 1,365,265 | 1,337,506 |
| | 合計 | 29,825,306 | 29,676,000 |
| (支出) | 項目と説明 | 元年度決算額 | 2年度予算額 |
| | 人件費（職員6人、給料、手当、保険） | 14,503,817 | 15,300,000 |
| | 事務費（消耗品費、光熱水費、消費税） | 2,511,130 | 13,321,000 |
| | 管理費（施設管理委託料、修繕・燃料費） | 10,609,800 | 13,321,000 |
| | 事業費（講師謝礼、事務用品、通信費） | 863,053 | 1,005,000 |
| | 予備費 | 0 | 50,000 |
| | 合計 | 28,487,800 | 29,676,000 |
| ■令和元年度末まちづくり基金現在高 | | | 2,502,370 |

| まちづくり計画部会活動費・事業推進費の内訳 | | | |
|-----------------------|--------------|-----------|-----------|
| (支出) | 項目と説明 | 元年度決算額 | 2年度予算額 |
| | 千草街道を往く | 431,951 | 500,000 |
| | みんなの夏休み | 149,414 | 500,000 |
| | みんなのふるさと祭り | 646,363 | 700,000 |
| | 永源寺ライトアップ | 615,883 | 700,000 |
| | もみじ街道整備 | 244,732 | 200,000 |
| | こみのないまちづくり事業 | 19,295 | 200,000 |
| | きりぎりしげんじ再発見 | 32,500 | 50,000 |
| | 住めば都プラン推進事業 | 94,788 | 100,000 |
| | 田舎で縁結び（婚活） | 211,652 | 100,000 |
| | 鈴鹿国定公園整備事業 | 70,000 | 70,000 |
| | 花いっぱい運動 | 206,730 | 200,000 |
| | いきいき活性化事業 | 180,880 | 200,000 |
| | 子ども応援事業 | 31,020 | 50,000 |
| | 笑顔で暮らせる事業 | 7,500 | 30,000 |
| | 合計 | 2,942,708 | 3,600,000 |

養蜂 パトックウェーブ

はちみつ販売

鈴鹿山系のミネラル豊富な自然から、みつばちが集めた蜂蜜です。

自然豊かな花からの贈り物を是非皆さままで御賞味ください。

東近江市高木町115

養蜂 パトックウェーブ 代表 小西隆司

携帯 090-1143-3493



まちの話題



コロナ禍の学校、6月1日登校再開 夏休み短縮で授業時間を確保



写真提供
（櫛カリセ）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市内の小中学校では、3月3日から5月末日まで休校するなど、異常な授業体制が続いています。

6月1日、3か月ぶりに登校した児童生徒は、机の間隔を広くとった教室に入り、毎日の検温や手洗い、消毒、マスクの着用など、みんなで注意することを確認しました。授業時間確保のため、夏休みは8月1日から17日まで、冬休みも12月26日から1月3日までに短縮予定です。大きな声での合唱や水泳など感染リスクの高い学習活動や運動会など楽しい行事の多くが中止になりました。この大変な環境の中で先生や子どもたちは、色々工夫を凝らし、自分たちでできることを考え、相手を思いやる心を学びながら、元気に学校生活を送っています。

大本山永源寺で虫干し コロナ疫病退散の祈禱兼ね



7月23日から26日まで、大本山永源寺では虫干しを一般公開されました。今年は新型コロナウイルスの関係で、多くの方が密にならないように制限されている中、できるだけ参拝者の方にゆっくりと作品を観てもらおうと、非公開の狩野探雪の曝龍図を中央に歴代住職の掛軸、十六羅漢図などが展示されました。開放された方丈や開山堂は後方から離れて鑑賞もでき、素晴らしい作品を参拝者は3密にならずに堪能しておられました。また経堂では、扉が全面開かれて中に経典の入った転輪蔵が間近で拝観できました。期間中、毎日2回、コロナ疫病退散祈禱会が行われ、読経と太鼓に参拝者は「来て良かった」「感動した」と言っておられ、また帰りには疫病退散祈禱札が授与されました。

糠床とぬか漬けを作ろう！ 発酵・伝統食を学ぶ



7月23日、切れ目ない子育て支援づくり事業「えにし」では、やまびこの家で、まちづくり協議会えがお部会とともに糠床とぬか漬け作りをしました。コロナ感染防止対策に努めた中で、当日は9組の親子20人が参加し、子どもたちも一緒になって熱心に作業をされていました。部会員さんが、美味しく漬かるコツの「魔法の古い糠床」を持って来て下さり、参加者もびっくりされていました。お母さん方も熱心に質問され、和気あいあいとした中でお互いに交流も深められました。毎年、伝統食を通して若い方との交流を持つことができ、ひいては後世に伝統食を継承していただけるものと期待します。（「えにし」から情報提供）

工事にご協力ください 市道山上上二俣線改良工事進む



平成26年から進められている市道山上上二俣線の改良工事は、工事区間の約8割が完成。残るは工事区間の始点・終点の交差点改良だけとなり、現在、コミュニティセンター隣で、工事が急ピッチに進められています。

今回の工事は、10月9日までの工期で、期間中は完全に通行止めとなり、たいへんご不便をおかけしていますが、工事にご協力をよろしくお願い致します。なお、県道甲津畑山上線との交差点改良は、信号機に頼らない円形交差点であるラウンドアバウトが計画されており、今秋から来年度にかけて工事が行われる予定です。一日も早い全線の工事完了と開通が待たれるところです。



世代を超えたつながりを 楽楽ひろばの活動より

図書館で無観客ライブ配信



動画配信の準備をするスタッフ

楽楽ひろばでは、永源寺図書館を活動の場所として、赤ちゃんからお年寄りまで誰もが気軽に集える居場所づくりを昨年から行っています。しかし、3月に入って新型コロナウイルスのために「集まる」ことができなくなり、オンラインで開催してみたい。このアドバイスを受け、新たな一歩を踏み出すことになりました。そして実現したのが、住民からリクエストのあったシンガーソングライターの「わ音」さんによる無観客ライブの動画配信です。

7月3日、まちづくりネット東近江の協力により、動画配信の準備が行われました。19時15分、図書館に澄んだ美しい歌声が響き、コロナでふさがちな気分を明るくしてくれました。動画配信のためのラインのアカウントには171人ものお友達登録がありました。

楽楽ひろばではこれからも図書館でのつながりが心豊かに暮らすための居場所の一つになればと考えています。今後オンラインでいろいろな催しの様子をお届けする予定です。



図書館で行われた「わ音」の無観客ライブ

スマートフォンやタブレットでQRコードを読み込むと、お友達登録ができます。わからない方は、ご家族や楽楽ひろばのメンバー、図書館のスタッフに聞いてみてください。



6月9日、永源寺赤十字奉仕団の皆さんが永源寺図書館の除草作業に来てくださいました。この取り組みは、永源寺図書館の玄関前の木レンガ隙間から草が生えるのを気にかけてくださった団員の皆さんの働きかけで、昨年度初めて実現しました。その後、団員の方から「今年度もやりましょう」というありがたい申し出があり、6月と11月に作業をしていただくことになりました。



除草作業に汗する団員の皆さん

おかげさまで 図書館の周辺がきれいになりました 永源寺赤十字奉仕団が除草作業

当日は、団員約50人と地元有志の皆さんにご参加いただき、朝から気温が上がり暑い中でしたが水分補給をこまめに行うなど熱中症対策に気を使いながら作業してくださいました。また、草刈りをしながら、新型コロナウイルス感染防止のための外出規制でしばらく会えなかった方も交流を深めておられる様子でした。皆さんの作業のおかげで図書館が見違えるようきれいになりました。(永源寺図書館から情報提供)

クローズアップ☆

集落ぐるみで リンドウ栽培にチャレンジ

黄和田町農地保全管理組合



初夏から秋にかけて、鮮やかな青紫色の花をつけるリンドウ。仏花として需要が高く、省力的で獣害にも強く、特に気温が低い中山間地域の畑田が栽培に適していると言われています。この適性を生かし、黄和田町でリンドウの栽培が始まり3年目の夏を迎えました。そこで、黄和田町農地保全管理組合代表の正出廣幸さんを訪ね、話をうかがいました。



7月中下旬咲きの「ながの2号」という品種



黄和田町の農地は、高齢化と獣害の増加で、ほとんどが休耕地となっていました。管理組合により共同で農地を守ってきましたが、ただ保全しているだけではもったいない、何か栽培できるものはないかとJAや県に相談したところリンドウ栽培を提案していただきました。2年前の平成30年のことです。ちょうど県の農産普及課が、野生獣の農作物被害が大きい中山間地への推進品目のひとつとして、切り花リンドウの栽培勧誘や技術支援を始めたところです。実証ほ場として県内3か所を選定され、黄和田

町もそのひとつになり、平成30年に500株、昨年3000株を植えました。黄和田町では、あえて獣害対策を施していませんが、シカによる踏み荒らしが数か所見られるだけで、食害の被害はなく、獣害に強いことが実証されました。リンドウは宿根草で植えてから5年ほど植え替えがなく、同じ株で毎年収穫できます。消毒もなく育てやすいのですが、除草や施肥のほか、花が倒れないようにネットを張ったり、水をやったり16人の仲間でクラブを作り、楽しみながらお世話をしています。昨年の春は8品種の苗を植え付けました。今年の秋に初めての収穫を迎えます。リンドウは、青紫色が主流ですが、ピンクや白もあり、どんな花を咲かせるのか、今から楽しみです。空いている農地はたくさんあります。無理をせず、コツコツと取り組んでいきたいと思っています。



平成30年に行われた植え付け作業

自然の恵みに出会う場所

イタリアンジェラート 香想
宿泊体験施設 あいきょうの森



池田牧場



〒527-0213 滋賀県東近江市和南町 1572-2
TEL : 0748-27-1600 FAX : 0748-27-1626

